

## 歯科補綴学(2) 実習

3 単位 4 年 (前期), 4 年 (後期)

### Fixed Prosthodontics

久保吉廣・准教授 / 歯学科 歯科補綴学第二講座 (咬合管理学), 西川啓介・講師 / 歯学科 歯科補綴学第二講座 (咬合管理学)

竹内久裕・講師 / 歯学科 歯科補綴学第二講座 (咬合管理学), 細木眞紀・助教 / 歯学科 歯科補綴学第二講座 (咬合管理学), 郡元治・助教 / 歯学科 歯科補綴学第二講座 (咬合管理学)

重本修伺・助教 / 歯学科 歯科補綴学第二講座 (咬合管理学), 大倉一夫・助教 / 歯学科 歯科補綴学第二講座 (咬合管理学), 薩摩登啓子・助教 / 歯学科 歯科補綴学第二講座 (咬合管理学)

**【授業目的】** 顎模型を使用し冠・橋義歯の製作を行うことにより、講義で得た知識を実践する手技を修得する。

**【授業概要】** 歯科補綴学は、顎口腔系の機能を回復し維持する補綴物を具現化する臨床歯科学の一分野である。例えば日々の臨床で補綴物は 1/100mm(10μm)の精度で調整されているが、この精度は旋盤加工であっても熟練を要する値である。補綴臨床ではそれを口腔内でしかも free hand で実現しているのである。講義で学ぶ理論を実践するために必要なこのような感覚と技術の基礎を修得する。

**【授業形式】** 実習

**【授業方法】** 実習

**【授業場所】** 第 5 実習室

**【授業テーマ】** 補綴臨床に必要な感覚と技術の基礎の修得

**【到達目標】** (<> 内はコアカリ対応)

1. 修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 <F-3-4)-(1)-③>
2. 支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。 <F-3-4)-(1)-⑥>
3. 窩洞形成と支台歯形成の意義と方法を説明できる。 <F-3-4)-(1)-⑦>
4. 仮封ならびに暫間装置の意義、種類および特徴を説明できる。 <F-3-4)-(1)-⑧>
5. 研究模型と作業模型の製作方法を説明できる。 <F-3-4)-(1)-⑨>
6. 平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 <F-3-4)-(1)-⑩>
7. 簡単な歯冠修復処置を行うことができる。 <F-3-4)-(1)-⑬>
8. 橋義歯の意義と具備条件を説明できる。 <F-3-4)-(2)-①>
9. 支台装置とポンティックの選択、特徴および製作方法を説明できる。 <F-3-4)-(2)-③>
10. 橋義歯における支台歯形成の方法を説明できる。 <F-3-4)-(2)-④>
11. 橋義歯の製作に必要な材料の特性と各基本的操作を説明できる。 <F-3-4)-(2)-⑥>
12. 橋義歯製作のための咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 <F-3-4)-(2)-⑦>
13. 橋義歯の設計を適切にできる。 <F-3-4)-(2)-⑪>

14. 支台装置の製作過程における基本的手技ができる。 <F-3-4)-(2)-⑫>
15. 印象材の種類と性質を説明できる。 <E-2-①>
16. 歯科用石膏の種類と特性を説明できる。 <E-2-②>
17. ワックスの種類と特性を説明できる。 <E-2-③>
18. レジンの重合、金属の鋳造・熱処理およびポーセレン焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 <E-2-④>

### 【授業計画】

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	ガイダンス, 顎模型調整	ガイダンス, 顎模型調整	器材検査, 顎模型咬合調整	1,8	全員
2.	診断用模型製作	診断用模型製作	印象採得(アルジネート印象材), 診断用模型完成	1,5,13	〃
3.	ㄥ⑤6⑦Br	支台歯形成	ㄥ5 支台歯形成	1,3,10	〃
4.	〃	〃	ㄥ7 支台歯形成	〃	〃
5.	〃	個歯トレー作製	個歯トレー用印象採得, 個人トレー製作	1,11	〃
6.	〃	〃	レジン個歯トレー製作	〃	〃
7.	〃	精密印象採得	ㄥ⑤6⑦精密印象準備	〃	〃
8.	〃	〃	ㄥ⑤6⑦精密印象(シリコーン印象材), 咬合採得	1,12,15	〃
9.	〃	作業模型製作	分割可撤式作業模型製作 1	1,5,16	〃
10.	〃	〃	分割可撤式作業模型製作 2	1,5	〃
11.	〃	〃	咬合器装着, マージン部のトリミング	1,5,6	〃
12.	〃	支台装置製作 ポンティック製作	ㄥ5 蝸型採得	1,14,17	〃
13.	〃	〃	ㄥ7 蝸型採得	〃	〃
14.	〃	〃	ㄥ6 ポンティック蝸型採得, 頬面コア, 舌面コア	1,9,17	〃

15.	〃	〃	ㄥ6 ポンティック蝨型採得, 窓開け	〃	〃
16.	〃	〃	ㄥ56, ㄥ7 埋没	1,18	〃
17.	〃	〃	ㄥ56, ㄥ7 鑄造, 試適, 咬合調整	〃	〃
18.	〃	〃	ㄥ56ㄥ7咬合面コア(模型上), 鑲着用埋没	〃	〃
19.	〃	鑲着, 研磨	鑲着, 研磨, 咬合調整	〃	〃
20.	〃	ブリッジ完成	ㄥ6 硬質レジン築盛, 研磨, 完成	〃	〃
21.	1┃硬質レジン前装冠	支台歯形成	前装冠支台歯形成(生活歯想定)	1,3	〃
22.	〃	メタルフレーム製作	蝨型採得, 頬面コア	1,14,17	〃
23.	〃	〃	窓開け, 埋没	〃	〃
24.	〃	〃	鑄造, 咬合調整, 研磨	1,18	〃
25.	〃	完成	硬質レジン築盛, 研磨, 完成	〃	〃
26.	1┃築造体	築造窩洞形成	築造窩洞形成(失活歯想定)	1,2,3	〃
27.	〃	築造体製作	印象採得(シリコーン印象材), 咬合採得 作業用模型製作	1,2,15,16	〃
28.	〃	〃	作業用模型分割, トリミング, 蝨型採得, 埋没	1,2	〃
29.	〃	〃	鑄造, 試適, 研磨, 仮封冠製作	1,2,4,18	〃
30.	実習試験		実技テスト	1,7	〃

【成績評価】実習作品, 実習態度, 実技テストの総合判定を行い, 100点満点で60点以上を合格とする。歯科補綴学(2)の単位は歯科補綴学(2)A・B講義, 歯科補綴学(2)実習の全科目の成績を総合評価して認定する。

【再試験】行う。

【教科書】

- ◇実習書:冠・橋義歯学(実習指針), 徳島大学歯学部歯科補綴学第二講座
- ◇参考書:クラウンブリッジテクニク, 医歯薬出版, 2008

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217322>

【連絡先】

- ⇒久保 (088-633-9171, [kubo@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:kubo@dent.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: (月火水金17:00~ 18:00/2F補綴・第4研究室/633-7350))
- ⇒西川 (088-633-7350, [keisuke@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:keisuke@dent.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: (月水金17:00~ 18:00/2F補綴・第3研究室))
- ⇒竹内 (咬合管理学 第二研究室, 088-633-7350, [htake@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:htake@dent.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: (火水金17:00~ 18:00))

- ⇒細木 (0886-633-7350, [hosoki@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:hosoki@dent.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: (月水金17:00~ 18:00/2F補綴科資料室))
- ⇒郡 (088-633-7350, [koori@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:koori@dent.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: (月火水17:00~ 18:00/2F2補綴・第4研究室))
- ⇒重本 (088-633-7350, [shigemo@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:shigemo@dent.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: (月火水金17:00~ 18:00/2F補綴科資料室))
- ⇒大倉 (088-633-7350, [ookura@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:ookura@dent.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: (月水金17:00~ 18:00/2F2補綴・第4研究室))
- ⇒薩摩 (088-633-7350, [satsuma@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:satsuma@dent.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: (火水金17:00~ 18:00/2F2補綴・第3研究室))